

関市立関商工高校で防災講座を行いました

令和6年6月18日（火）、関市立関商工高校で2年生34名に水害、3年生16名に地震の防災講座を行いました。この講座は、令和2年より実施しており、今回が5年目になります。

水害の講座では、まずVRで浸水の疑似体験を行いながら、ハザードマップを確認しマイ・タイムラインを作成しました。次に、伊勢湾台風や、関市を流れる津保川が氾濫し大規模な被害のあった平成30年7月豪雨などを学んで頂きました。

また、関市には平成30年7月豪雨の浸水深を示す浸水位表示板があることや、水害によって被害を受けた地域には被害を表す石碑や浸水位表示板があることを知っていただきました。

地震の講座では、新年に発生した能登半島地震や濃尾地震などについて学び、その後、関市はどのような土地なのか、液状化しやすいのかなどをハザードマップで確認しました。また、実験を通して、液状化現象や長周期地震動の仕組みなどについて理解を深めていただきました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

水害



地震

